

## 「デジタルアーカイブの紹介」 展示資料

平成31年 5月22日

No.	書名	著者	出版年	備考	請求記号
1	安房めぐり	〔幼々軒／著〕	1838 (天保9)	地理や地名に関する往来物（鎌倉時代から明治初期にかけて初等教育の教科書、副読本として編まれた書物の総称）。安房郡、平群郡、朝夷郡、長狭郡の地名が仮名付きで記されています。頭書中に挿絵や寺社・名所由来記があります。『日本教科書大系 往来物 第9巻』に本文の翻刻が収録されています。	C2911/Y072/1
2	利根川圖志 巻6	赤松宗旦義知／著	1858 (安政5)	全6巻 安政2年（1855）の序文があります。著作者赤松宗旦は下総国相馬郡布川村（現茨城県相馬郡利根町）の医師です。利根川流域の下総・常陸地方の地誌で、多くの図版が掲載されています。	C293/A31/1-6
3	甘藷百珍	珍古樓主人／輯	1789 (寛政元)	江戸時代のサツマイモの料理方法を集めた1冊。「奇品」・「尋常品」・「妙品」・「絶品」に分類されています。	C596/I48
4	諸国名所百景 上総笠森寺岩作り観音	歌川 広重〔著〕	1859 (安政6)	錦絵。下谷魚栄版。初代広重の「六十余州名所図絵」を模して刊行。笠森寺観音堂は「四方懸造り」の堂で、国の重要文化財に指定されています。	C721/H73/1-2
5	銚子口大漁満祝ひの図	橋本 貞秀／画	1847 (弘化4)	錦絵。貞秀は幕末の絵師の重鎮で、特に風景画は、ほとんど日本国中におよぶ広い地域を歩き、各地で三枚続、六枚続などで独特の風景鳥瞰図を描いている。1847年（弘化4）の序文があります。	C721/H38/1
6	房総ひざ久利毛 方言修行金草鞋 17編	十返舎一九／著 歌川國兼／画	1827 (文政10)	俗に『房総ひざ久利毛』と呼ばれていますが、正しくは『方言修行金草鞋（むだしゅぎょうかねのわらじ） 十七編』、内題『小湊参詣金草鞋』という題名で、『東海道中膝栗毛』とは別の作品です。絵を主眼にした紀行文で、翻刻及び解題された『十返舎一九の房総道中記』（鶴岡節雄／校注 多田屋 昭和54年）が刊行されています。	C95/I36/1

※千葉県立図書館ホームページより閲覧することができます。 <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/nanohana/index.html>